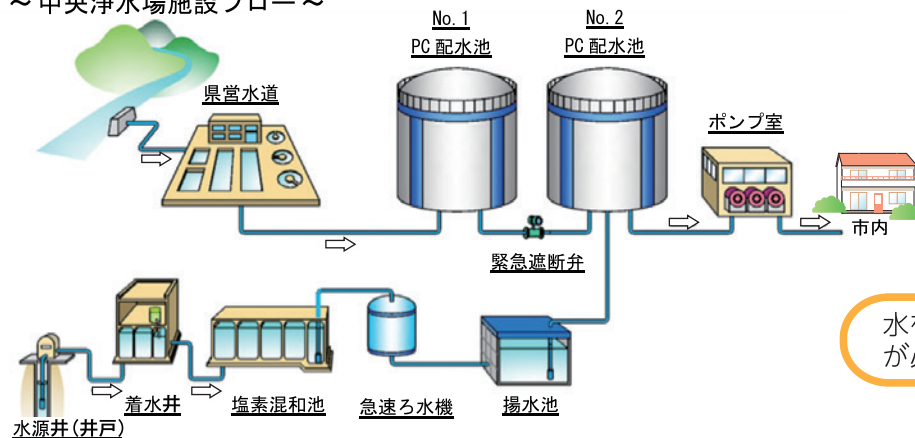


やさおの水道について知ろう!

第2回 水道に関する施設について(浄水編)

今回は、利根川水系ダムの水と市内の井戸水が飲めるように処理(浄水処理)された後、八潮の水道水として、皆さんに届けられていることを学びました。今回は、この浄水処理のしくみについて勉強していきましょう。

～中央浄水場施設フロー～



水はそのままでは飲めないんだね。
浄水処理ってどんなことをするの?



浄水処理とは、ダムから来た水や市内で汲み上げた井戸水に塩素を入れたり、不純物を取り除いたりして、皆さんが安心して飲める安全な水にすることをいいます。ダムの水は埼玉県、井戸水は八潮市がきれいにしてます。



井戸水の浄水処理について説明します。
まず、市内の水源井(井戸)から汲み上げた水を着水井に送り、砂などの沈下や塩素の注入を行います。その後、塩素混和池に送り、水と塩素がよく混ざるようにして滅菌します。それから、急速ろ水機で水の中の不純物を取り除きます。これで浄水処理は完了となります。
こうして、きれいになった水は、揚水池を経由し、配水池に貯めた後、ポンプ室の配水ポンプにより市内に送られています。

水を飲めるようにするためには、いろいろな設備や作業が必要なんだね。水道水は大切にしないとイケないね!



【お問い合わせ】施設課浄配水・計画担当